

身体拘束等の排除に関する研修記録
(ヒヤリハットからの振り返り)

実施

日時	令和8年3月3日(火)	時間	11 時 0 分 ~ 12 時 0 分
場所	はぐくみプラス	記録者	阿部美穂
形式	<input checked="" type="radio"/> 対面 <input type="radio"/> オンライン <input type="radio"/> ハイブリッド <input type="radio"/> eラーニング <input type="radio"/> その他 (
テーマ	ヒヤリハットからの振り返り	進行	阿部美穂
	身体拘束適正化委員会での振り返り	資料	マニュアル_身体拘束ゼロ対策.docx
参加者	安田愛子、土門弘治		
第三者			
内容	1 身体拘束廃止の基本理念と支援者の役割 (身体拘束適正化指針・マニュアルの読み合わせ)		
	2 身体拘束ゼロ継続に向けたマニュアル改正案の検討 (現場の課題に応じた具体策の追加)		
	3 記録様式の適正な運用確認 (様式1~3を用いた、緊急やむを得ない場合の記録手順の周知)		
備考	・配布資料 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 資料： 委員会_身体拘束適正化指針.docx 様式_説明/経過観察/経過記録.docx		

気づき・課題・事業所への応用	1 指針やマニュアルを再点検したことで、身体拘束ゼロを継続するには管理者が模範となり、全員が代替案を出し合える環境が不可欠だと再認識		
	2 対象利用者はいてないが、いざ必要に備えること、整備すること様式1~3を用いた日々の記録を正確かつ迅速に運用し続けられる体制を維持すること		
	3 今回の改正作業を通じて現場の具体的な知恵をマニュアルに反映し、全員が責任を持って権利擁護を実践する組織体制を構築		
次回	令和9年2月	テーマ	改正したマニュアルの運用状況の確認と周知